

注3

大学番号：024

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

東京外国語大学 総合国際学研究所  
世界言語社会専攻・国際日本専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人東京外国語大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画課

職名・氏名 カチョウ 課長 オオノ サトコ 大野 智子

電話番号 042-330-5152

（夜間） 042-330-5152

F A X 042-330-5140

e-mail soumu-hyouka@tufs.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 総合国際学研究科

<世界言語社会専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	40

<国際日本専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	42
2. 授業科目の概要	45
3. 施設・設備の整備状況、経費	48
4. 既設大学等の状況	49
5. 教員組織の状況	51
6. 留意事項等に対する履行状況等	57
7. その他全般的事項	58

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 東京外国語大学

## (2) 大学名

東京外国語大学

## (3) 大学の位置

〒183-8534  
東京都府中市朝日町3-11-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	タテイ ヒロコ 立石 博高 (平成25年4月)		
研究科長	イワサキ ツトム 岩崎 務 (平成25年4月)	アヤマ ヒロ 青山 亨 (平成29年4月)	平成29年4月1日 任期満了による交代 (29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
総合国際学研究科 世界言語社会専攻  修士(学術、文学、 言語学、国際学)	文学関係 社会学・ 社会福祉学関係	2 年	102 人	204 人	基礎となる学部等  言語文化学部 国際社会学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学		
A 入学定員	90人 (若干名) [ ]	12人	90人 (若干名) [ ]	12人			0.96倍	10月入学: 募集人員12名
志願者数	176 (21) [54]	16 (-) [15]	202 (16) [79]	- [ ]				
受験者数	173 (20) [53]	16 (-) [15]	196 (15) [77]	- [ ]				
合格者数	109 (10) [15]	12 (-) [12]	100 (4) [30]	- [ ]				
B 入学者数	95 (10) [14]	9 (-) [9]	82 (2) [28]	- [ ]				
入学定員超過率 B/A	0.96							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。

- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とそれを合計した入学定員、入学者数で算出して

ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		備 考
	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	
1年次	95 [ 14 ] ( - )	9 [ 9 ] ( - )	82 [ 29 ] ( - )	- [ - ] -	10月入学定員：12名
2年次	/		89 [ 14 ] ( - )	8 [ 8 ] ( - )	
計	104 [ 23 ] ( - )		179 [ 51 ] ( - )		

- (注)
- ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	104 人	3 人	平成28年度	3 人	1 人	学生個人の心身に関する事情(1人)、就学 意欲の低下(1人)、除籍(1人)	2.88 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	82 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	186 人	3 人					1.61 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                   ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<総合国際学研究所 世界言語社会専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	(研究科共通科目)											
	総合国際学研究基礎	1前・後 1・2前・後	2			5 3 2						兼 2 教育内容充実のため、教員を追加(28)
	異分野交流ゼミ 1	1-2前 1・2前・後	2			4 2						秋入学に則した配当学期を追加(28) 教育内容充実のため、教員を追加(28)
	異分野交流ゼミ 2	1-2後	2			4						教育内容充実のため、教員を追加(29) 秋入学に則した配当学期を追加(28)
	短期海外留学	1・2前・後	2			5						
	多文化コーディネーション研究 1	1・2前	2						1			兼 1 科目内容に鑑み、担当教員変更(28)
	多文化コーディネーション研究 2	1・2後	2						1			兼 2 科目内容に鑑み、担当教員変更(28)
	言語教育基礎 1	1・2前	2			1						教育内容充実のため、科目を追加(28)
	言語教育基礎 2	1・2後	2			1						教育内容充実のため、科目を追加(28)
	日本語教育基礎 1	1・2前	2									兼 1
	日本語教育基礎 2	1・2後	2									兼 1
		未開講										
	日本語教育実習研究 1	1-2前	2									兼 1 遠隔講義先の大学との調整がつかないため(29)
	日本語教育実習研究 2	1・2後	2									兼 2
	世界史教育 1	1・2前	2			1	1					教育内容充実のため、担当教員変更(28)
	世界史教育 2	1・2後	2									兼 1
	国際行政入門 1	1・2前	2			1	1					科目内容に鑑み、担当教員変更(28)
	国際行政入門 2	1・2後	2			1						兼 1 科目内容に鑑み、担当教員変更(28)
												兼 5 兼 6 科目内容に鑑み、担当教員を変更(29) 兼 1 教育内容充実のため、教員を追加(28) 兼 5 兼 6 科目内容に鑑み、担当教員を変更(29) 兼 1 教育内容充実のため、教員を追加(28)
	学術英語演習 1	1・2前	1									兼 1 他授業の開講状況を検討し、配当学期を変更(29)
学術英語演習 2	1・2後 1・2前	1									兼 1 教育内容充実のため、教員を追加(28)	
学術日本語演習 1	1-2後	1									兼 1	
学術日本語演習 2	1・2後	1									兼 1	
学術ドイツ語演習 1	1・2前	1						1				
学術ドイツ語演習 2	1・2後	1						1				
学術フランス語演習 1	1・2前	1						1			兼 1 教育内容充実のため、教員を追加(28)	
学術フランス語演習 2	1・2後	1						1			兼 1 教育内容充実のため、教員を追加(28)	
	未開講											
学術イタリア語演習 1	1-2前	1						1			履修希望者がいなかったため(29)	
学術イタリア語演習 2	1・2後	1						1			履修希望者がいなかったため(29)	
	未開講											
学術スペイン語演習 1	1-2前	1						1			兼 1 特定教員任期満了のため(29)	
学術スペイン語演習 2	1・2後	1						1			兼 1 特定教員任期満了のため(29)	
学術ポルトガル語演習 1	1・2前	1						1				
学術ポルトガル語演習 2	1・2後	1						1				

言語文化コース・国際社会コース共通開講	学術ロシア語演習 1	1・2前	1			1	兼 1	教育内容充実のため、教員を追加 (28)	
	学術ロシア語演習 2	1・2後	1			1	兼 1	教育内容充実のため、教員を追加 (28)	
		1・2前 未開講						通常開講 (29)	
	学術ポーランド語演習 1	1・2前	1			1		履修希望者がいなかったため(28)	
	学術ポーランド語演習 2	1・2後	1			1			
	学術チェコ語演習 1	1・2前	1			1			
	学術チェコ語演習 2	1・2後	1			1			
	学術中国語演習 1	1・2前	1			1			
	学術中国語演習 2	1・2後	1			1			
	学術朝鮮語演習 1	1・2前	1			1	兼 1	教育内容充実のため、教員を追加 (28)	
	学術朝鮮語演習 2	1・2後	1			1	兼 1	教育内容充実のため、教員を追加 (28)	
		1・2前 未開講							通常開講 (29)
	学術モンゴル語演習 1	1・2前	1			1		履修希望者がいなかったため(28)	
	学術モンゴル語演習 2	1・2後	1			1			
	学術インドネシア語演習 1	1・2前	1			1			
	学術インドネシア語演習 2	1・2後	1			1			
		未開講							履修希望者がいなかったため(29)
	学術マレーシア語演習 1	1・2前	1			1		履修希望者がいなかったため(28)	
	学術マレーシア語演習 2	1・2後	1			1			
		未開講							履修希望者がいなかったため(29)
	学術フィリピン語演習 1	1・2前	1			1		履修希望者がいなかったため(28)	
	学術フィリピン語演習 2	1・2後	1			1			
		1・2前 未開講							通常開講 (29)
	学術タイ語演習 1	1・2前	1			1		履修希望者がいなかったため(28)	
	学術タイ語演習 2	1・2後	1			1			
		未開講							履修希望者がいなかったため(29)
	学術ラオス語演習 1	1・2前	1			1		履修希望者がいなかったため(28)	
	学術ラオス語演習 2	1・2後	1			1			
		1・2前 未開講							通常開講 (29)
	学術ベトナム語演習 1	1・2前	1			1		履修希望者がいなかったため(28)	
	学術ベトナム語演習 2	1・2後	1			1			
		1・2前 未開講							通常開講 (29)
	学術カンボジア語演習 1	1・2前	1			1		履修希望者がいなかったため(28)	
学術カンボジア語演習 2	1・2後	1			1				
学術ビルマ語演習 1	1・2前	1			1				
学術ビルマ語演習 2	1・2後	1			1				
	未開講							履修希望者がいなかったため(29)	
学術ヒンディー語演習 1	1・2前	1	1		1	+	履修希望者がいなかったため開講せず(28) 教育内容充実のため、教員を追加 (28)		
学術ヒンディー語演習 2	1・2後	1	1		1	+	教育内容充実のため、教員を追加 (28)		
	未開講						履修希望者がいなかったため(29)		
学術ウルドゥー語演習 1	1・2前	1			1		履修希望者がいなかったため(28)		
学術ウルドゥー語演習 2	1・2後	1			1				
学術ベンガル語演習 1	1・2前	1			1				
学術ベンガル語演習 2	1・2後	1			1				
	未開講							履修希望者がいなかったため(29)	
学術アラビア語演習 1	1・2前	1			1		履修希望者がいなかったため(28)		



		1・2前 未開講									通常開講 (29)
	学術ペルシア語演習 1	1・2前	1					1			履修希望者がいなかったため(28)
	学術ペルシア語演習 2	1・2後	1					1			
	学術トルコ語演習 1	1・2前	1					1			
	学術トルコ語演習 2	1・2後	1					1			
	アジア・アフリカフィールドサイエンス基礎 1	1・2前	2							兼 1	
	アジア・アフリカフィールドサイエンス基礎 2	1・2後	2							兼 1	
	アジア・アフリカフィールドサイエンス実践研究 1	1・2前	2							兼 1	
	アジア・アフリカフィールドサイエンス実践研究 2	1・2後	2							兼 1	
						73					
						79	40				
	修士論文修士研究ゼミ 1	2前	2			71	39				科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29) 教育内容充実のため、教員を追加 (28)
						73					
						79	40				科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
	修士論文修士研究ゼミ2	2後	2			71	39				教育内容充実のため、教員を追加 (28)
	英語学・英語教育学研究 1	1・2前	2			1					
	英語学・英語教育学研究 2	1・2後	2			1					
	英語学・英語教育学研究 3	1・2前	2			1					
	英語学・英語教育学研究 4	1・2後	2			1					
	英語学・英語教育学研究 5	1・2前	2			1					
	英語学・英語教育学研究 6	1・2後	2			1					
	英語学・英語教育学研究 7	1・2前	2			1					
	英語学・英語教育学研究 8	1・2後	2			1					
	英語学・英語教育学研究 9	1・2前	2			1					
	英語学・英語教育学研究 10	1・2後	2			1					
	英語学・英語教育学研究 11	1・2前	2			1		1		兼 3	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
	英語学・英語教育学研究 12	1・2後	2			1		1		兼 2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
								5			
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究 1	1・2前	2			5	4	1		兼 1	専任教員昇任(准教授) (29) 教育内容充実のため、教員を追加 (28)
						5					
						4	5				教育内容充実のため、教員を追加 (29)
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究 2	1・2後	2			5	4	1		兼 1	専任教員昇任(准教授) (29) 科目内容に鑑み、担当教員を変更 (28)
						6	7	7			
						5	8	6		兼 1	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29) 専任教員昇任(教授) (29)
	アジア・アフリカ言語研究 1	1・2前	2			4	9	3		兼 2	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (28) 専任教員昇任(教授、准教授) (28)
							6	7			
						5	8	6		兼 1	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29) 専任教員昇任(教授) (29)
	アジア・アフリカ言語研究 2	1・2後	2			4	9	3		兼 1	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (28) 専任教員昇任(教授、准教授) (28)
							2			兼 1	
	言語学研究 1	1・2前	2			2	1			兼 3	教育内容充実のため、担当教員を変更 (29) 教育内容充実のため、教員を追加 (28)
						1	2			兼 1	
	言語学研究 2	1・2後	2			2	1	1		兼 2	教育内容充実のため、担当教員を変更 (29) 教育内容充実のため、教員を追加 (28)
	音声学研究 1	1・2前	2			2					
	音声学研究 2	1・2後	2			2					
										兼 2	教育内容充実のため、教員を追加 (29)
	言語情報学研究 1	1・2前	2			2	1			兼 1	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
										兼 1	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
	言語情報学研究 2	1・2後	2			2	1			兼 2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
	認知科学研究 1	1・2前	2			1	1				専任教員退職のため (28)

ヒ コ ー ス	認知科学研究 2	1・2後	2	4	1				専任教員退職のため(28)
						1			
						2			
	通訳翻訳実践研究 1	1・2前	2	1		1			兼 5 科目内容に鑑み、担当教員を変更(29) 兼 4 教育内容充実のため、教員を追加(28)
							1		
							2		
	通訳翻訳実践研究 2	1・2後	2	1		1			兼 5 科目内容に鑑み、担当教員を変更(29) 兼 4 教育内容充実のため、教員を追加(28)
		未開講							
	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 1	1・2前	2	1					履修希望者がいなかったため(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 2	1・2後	2	1					
	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 3	1・2前	2	1	1				専任教員昇任(教授)(29)
	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 4	1・2後	2	1	1				専任教員昇任(教授)(29) 科目内容に鑑み、担当教員を変更(29)
							3		
	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 5	1・2前	2	4	5	1			兼 1 教育内容充実のため、教員を追加(28)
	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 6	1・2後	2	4	5	1			兼 1 教育内容充実のため、教員を追加(28)
							7		
	アジア・アフリカ文学・文化研究 1	1・2前	2	8	5	1			兼 3 科目内容に鑑み、担当教員を変更(29) 兼 1 科目内容に鑑み、担当教員を変更(28)
						7			
アジア・アフリカ文学・文化研究 2	1・2後	2	8	5	1			兼 3 科目内容に鑑み、担当教員を変更(29) 兼 2 教育内容充実のため、教員を追加(28)	
古典文学・文化研究 1	1・2前	2	1						
古典文学・文化研究 2	1・2後	2	1						
						1			
						2			
人間文化研究 1	1・2前	2	1	1	2			兼 1 教育内容充実のため、教員を追加(28)	
						1			
						2			
人間文化研究 2	1・2後	2	1	1	2			兼 1 教育内容充実のため、教員を追加(28)	
アジア・アフリカフィールドサイエンス言語研究 1	1・2前	2						兼 3 兼 1 教育内容充実のため、教員を追加(28) 兼 3	
アジア・アフリカフィールドサイエンス言語研究 2	1・2後	2						兼 1 教育内容充実のため、教員を追加(28)	
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 1	1・2前	2	1						
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 2	1・2後	2	1						
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 3	1・2前	2	1						
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 4	1・2後	2	1						
	1・2前								
	未開講								
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 5	1・2前	2	1					通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)	
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 6	1・2後	2	1						
	1・2前								
	未開講								
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 7	1・2前	2		1	1			担当教員海外派遣のため(28) 専任教員昇任のため(28)	
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 8	1・2後	2		1	1			専任教員昇任のため(28)	
	1・2前								
	未開講								
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 9	1・2前	2			1			通常開講(29)	
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 10	1・2後	2			1			海外派遣のため未開講(28)	

国際社会コース

ヨーロッパ・アメリカ地域研究 1 1	1・2前	2			1		
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 1 2	1・2後	2			1		
	1・2前 未開講						通常開講 (29)
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 1 3	1・2前	2			1		産前産後休暇及び育児休業のため (28)
	1・2後 未開講						通常開講 (29)
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 1 4	1・2後	2			1		産前産後休暇及び育児休業のため (28)
			4				教育内容充実のため、教員を追加 (29)
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 1 5	1・2前	2	4	2	1	兼 1	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (28)
			2				科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
ヨーロッパ・アメリカ地域研究 1 6	1・2後	2	4	2	1	兼 1	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 1	1・2前	2	1				
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 2	1・2後	2	1				
	未開講						
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 3	1・2前	2	1				履修希望者がいなかったため (29)
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 4	1・2後	2	1				
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 5	1・2前	2	1				
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 6	1・2後	2	1				
	未開講						履修希望者がいなかったため (29)
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 7	1・2前	2	1				履修希望者がいなかったため (28)
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 8	1・2後	2	1				
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 9	1・2前	2	1				
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 10	1・2後	2	1				
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 11	1・2前	2	1				
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 12	1・2後	2	1				
	1・2前 未開講						通常開講 (29)
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 13	1・2前	2		1			履修希望者がいなかったため (28)
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 14	1・2後	2		1			
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 15	1・2前	2		1	1		専任教員昇任 (准教授) (29)
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 16	1・2後	2		1	1		専任教員昇任 (准教授) (29)
			5		4		
			8		2		科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 17	1・2前	2	5	4	1		教育内容充実のため、教員を追加 (28)
			5		4		
			8		2		科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 18	1・2後	2	5	4	1	兼 1	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
現代世界論研究 1	1・2前	2	1				
現代世界論研究 2	1・2後	2	1				
			8				
			7				担当教員が、特別研修から復帰 (29)
現代世界論研究 3	1・2前	2	8	1		兼 2	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (28)
現代世界論研究 4	1・2後	2	8	1		兼 1	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
			2				
			5				教授1名が特別研修のため開講せず (29)
			3	1	2	兼 2	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
国際関係研究 1	1・2前	2	3	1	2	兼 2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
			3				
			5				科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
国際関係研究 2	1・2後	2	3	1	2		教育内容充実のため、教員を追加 (28)

	国際関係研究 3	1・2前	2			1 2	2		兼 1	教育内容充実のため、教員を追加 (29)
	国際関係研究 4	1・2後	2			2	2		兼 1	教育内容充実のため、教員を追加 (29)
	アジア・アフリカフィールドサイエンス地域研究 1	1・2前	2						兼 3	
	アジア・アフリカフィールドサイエンス地域研究 2	1・2後	2						兼 1	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
									兼 2	
									兼 1	教育内容充実のため、教員を追加 (29)
Peace and Conflict Studies	PCS Research Methodology	1・2後	2			1				
	Foundation for Peacebuilding 1	1・2前	2			1				
		1・2前								通常開講 (29)
		未開講								
	Foundation for Peacebuilding 2	1・2前	2						兼 1	履修対象者がいないため (28)
	Applied Peacebuilding 1	1・2前	2			1				
		1・2前								通常開講 (29)
		未開講								
	Applied Peacebuilding 2	1・2後	2						兼 1	履修対象者がいないため (28)
	Applied Peacebuilding 3	1・2後	2						兼 1	
	Applied Peacebuilding 4	1・2前	2						兼 1	
	Conflict and Social Change 1	1・2前	2			1				
	Conflict and Social Change 2	1・2後	2						兼 1	
	International Relations and Cooperation 1	1・2後	2						兼 1	
	1・2前								通常開講 (29)	
	未開講									
International Relations and Cooperation 2	1・2前	2						兼 1	履修対象者がいないため (28)	
	1・2前								通常開講 (29)	
	未開講									
International Relations and Cooperation 3	1・2前	2						兼 1	履修対象者がいないため (28)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	167	0	170	3	169	0	172	
				[ ]	[ 2 ]	[ ]	[ 2 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	日本語教育実習研究 1		1・2前			遠隔講義先の大学（台湾）との調整が つかなかったため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 当該科目は必修科目ではなく、秋学期には「日本語教育実習研究 2」が開講される予定であり、修了までに必要な科目履修に大幅な影響はないと考える。なお、該当科目については、履修希望者はおらず、履修に関する相談はこれまで寄せられていない。</p> <p>「学生への周知方法」 履修案内には開講しない予定であることを明記し、履修計画に影響のないよう周知した。</p>
---

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{1}{170} = \boxed{0.58} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	99,479㎡	0㎡	0㎡	99,479㎡			
	運動場用地	27,557㎡	0㎡	0㎡	27,557㎡			
	小 計	127,036㎡	0㎡	0㎡	127,036㎡			
	そ の 他	15,276㎡	0㎡	0㎡	15,276㎡			
	合 計	142,312㎡	0㎡	0㎡	142,312㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		49,808㎡ (49,808㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	49,808㎡ (49,808㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 66 <del>67</del> 室	演 習 室 45 室	実験実習室 3 <del>5</del> 室	情報処理学習施設 5 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 3 室 (補助職員 5人) 平成29年4月 講義室、実験実習室改修 のため(29)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		世界言語社会専攻			131 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	世界言語社会専攻	855,261 [463,980] (855,261 [463,980])	10,187 [3,666] (10,187 [3,666])	6,743 [5,904] (6,743 [5,904])	1,188 (1,188)	7 (7)	0 (0)	
	計	855,261 [463,980] (855,261 [463,980])	10,187 [3,666] (10,187 [3,666])	6,743 [5,904] (6,743 [5,904])	1,188 (1,188)	7 (7)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		6,930 ㎡		564	689,694			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		5,610㎡		屋 外 運 動 場 1 面 テ ニ ス コ ー ト 5 面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	東京外国語大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
言語文化学部 言語文化学科	4	370	3年次 15	1,510	学士（言語・地域文化）	1.03	平成24年度	東京都府中市	
国際社会学部 国際社会学科	4	375	3年次 15	1,530	学士（言語・地域文化）	1.04	平成24年度	東京都府中市	
外国語学部 欧米第一課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	外国語学部は、平成24年度（3年次編入学は平成26年度）より学生募集停止
欧米第二課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
ロシア・東欧課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
東アジア課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
東南アジア課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
南・西アジア課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
日本課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
総合国際学研究所 （博士前期課程） 世界言語社会専攻	2	102	—	204	修士（言語学）（文学）（学術）	0.96	平成28年度	東京都府中市	博士前期課程の4専攻は、平成28年度より学生募集停止
国際日本専攻	2	46	—	86	修士（言語学）（文学）（学術）	1.05	平成28年度	東京都府中市	
総合国際学研究所 （博士前期課程） 言語文化専攻	2	47	—	94	修士（言語学）（文学）（学術）	—	平成21年度	東京都府中市	
言語応用専攻	2	34	—	68	修士（言語学）（学術）	—	平成21年度	東京都府中市	
地域・国際専攻	2	37	—	74	修士（国際学）（学術）	—	平成21年度	東京都府中市	
国際協力専攻	2	30	—	60	修士（国際学）	—	平成21年度	東京都府中市	
総合国際学研究所 （博士後期課程） 言語文化専攻	3	20	—	60	博士（学術）	0.98	平成21年度	東京都府中市	
国際社会専攻	3	20	—	60	博士（学術）	0.76	平成21年度	東京都府中市	

- |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合国際学研究所 世界言語社会専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	吉本 秀之	平成28年 4月	総合国際学研究基礎 人間文化研究 1 人間文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2 短期海外留学					総合国際学研究基礎 人間文化研究 1 人間文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2 短期海外留学	科目内容に鑑み、担当教員変更(29)
専	教授	土佐 桂子	平成28年 4月	総合国際学研究基礎 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 5 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 6					総合国際学研究基礎 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 6 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 6	科目内容に鑑み、担当教員変更(29)
専	教授	高島 英幸	平成28年 4月	総合国際学研究基礎 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2					総合国際学研究基礎 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2 英語学・英語教育学研究11 英語学・英語教育学研究12	教育内容充実のため、教員を追加(28)
専	教授	鶴田 知佳子	平成28年 4月	修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2 通訳翻訳実践研究 1 通訳翻訳実践研究 2					修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2 通訳翻訳実践研究 1 通訳翻訳実践研究 2 総合国際学研究基礎	教育内容充実のため、教員を追加(28)
専	講師	内藤 稔	平成28年 4月	通訳翻訳実践研究 1 通訳翻訳実践研究 2						
専	教授	岩崎 務	平成28年 4月	異分野交流ゼミ 1 古典文学・文化研究 1 古典文学・文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2					異分野交流ゼミ 1 古典文学・文化研究 1 古典文学・文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	科目内容に鑑み、担当教員変更(29)
専	講師	土田 久美子	平成28年 4月	多文化コーディネーション研究 1 多文化コーディネーション研究 2	兼任				多文化コーディネーション研究 1 多文化コーディネーション研究 2	科目内容に鑑み、担当教員変更(28) ※所属変更により兼任に
	兼任				兼任	講師	長谷部 美佳	平成28年 4月	多文化コーディネーション研究 1	科目内容に鑑み、担当教員変更(28)
兼任	教授	荒川 洋平	平成28年 4月	日本語教育基礎 1						
兼任	准教授	中井 陽子	平成28年 4月	日本語教育基礎 2						
兼任	教授	林 俊成	平成28年 4月	日本語教育実習研究 1 日本語教育実習研究 2						
兼任	准教授	鈴木 美加	平成28年 4月	日本語教育実習研究 2			教授 准教授			平成29年4月昇任 (29)

兼任	講師	割田 聖史	平成28年 4 月	世界史教育 2						
専	教授	山田 文比古	平成28年 4 月	国際行政入門 1 国際行政入門 2						
					兼任	講師	加藤 秀治郎	平成28年 4 月	国際行政入門 2	山田教授の就任辞退及び、科目内容に鑑み、担当教員を変更 (28)
専	准教授	蒲生 慶一	平成28年 4 月	国際関係研究 3 国際関係研究 4 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2					国際行政入門 1 国際関係研究 3 国際関係研究 4 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (28)
兼任	講師	エリック・ハウザー	平成28年 4 月	学術英語演習 1 学術英語演習 2						
兼任	講師	清水 美里	平成28年 4 月	学術日本語演習 1					学術日本語演習 1 学術日本語演習 2	科目内容に鑑み、担当教員変更 (29)
兼任	講師	古川 高子	平成28年 4 月	学術日本語演習 2					学術日本語演習 1 学術日本語演習 2	科目内容に鑑み、担当教員変更 (29)
専	講師	カタリーナ・ムレンス	平成28年 4 月	学術ドイツ語演習 1 学術ドイツ語演習 2						
専	講師	ルボフ	平成28年 4 月	学術フランス語演習 1 学術フランス語演習 2						
専	講師	テッローシ ロベルト	平成28年 4 月	学術イタリア語演習 1 学術イタリア語演習 2	専	講師	フィオレッティ・アンドレア	平成29年 4 月	学術イタリア語演習 1 学術イタリア語演習 2	平成29年3月テッローシ ロベルト任期満了退職にともない担当者変更 (29)
専	講師	モレノ	平成28年 4 月	学術スペイン語演習 1 学術スペイン語演習 2	兼任	講師	モレノ	平成29年 4 月	学術スペイン語演習 1 学術スペイン語演習 2	平成29年3月モレノ 任期満了退職により、非常勤講師として担当 (29)

専	講師	ピシテリ	平成28年4月	学術ポルトガル語演習1 学術ポルトガル語演習2						
専	講師	サルキンデル	平成28年4月	学術ロシア語演習1 学術ロシア語演習2						
専	講師	ヤグナ マレイカ	平成28年4月	学術ポーランド語演習1 学術ポーランド語演習2	専	講師	ブルスコタ カロリナ	平成29年4月	学術ポーランド語演習1 学術ポーランド語演習2	平成29年3月ヤグナ マレイカ任期満了退職にともない担当者変更(29)
専	講師	マルケータ・ ゲブハルトヴァー	平成28年4月	学術チェコ語演習1 学術チェコ語演習2					学術チェコ語演習1 学術チェコ語演習2 ヨーロッパ・アメリカ 文学・文化研究5	教育内容充実のため、教員を追加 (29)
専	講師	張 書傑	平成28年4月	学術中国語演習1 学術中国語演習2						
専	講師	崔 泰源	平成28年4月	学術朝鮮語演習1 学術朝鮮語演習2						
専	講師	ガルバヤル	平成28年4月	学術モンゴル語演習1 学術モンゴル語演習2					学術モンゴル語演習1 学術モンゴル語演習2 アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
専	講師	ダニエル・ハリマン・ ヤコブ	平成28年4月	学術インドネシア語演習1 学術インドネシア語演習2						
専	講師	ファリダ	平成28年4月	学術マレーシア語演習1 学術マレーシア語演習2	専	講師	アイシャ	平成29年4月	学術マレーシア語演習1 学術マレーシア語演習2 アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2	平成29年3月ファリダ任期満了退職に ともない担当者変更(29)
専	講師	峯下 ロセル	平成28年4月	学術フィリピン語演習1 学術フィリピン語演習2	専	講師	パルマルヒ	平成29年4月	学術フィリピン語演習1 学術フィリピン語演習2	平成29年3月峯下 ロセル任期満了退 職にともない担当者変更(29)
専	講師	スニサー	平成28年4月	学術タイ語演習1 学術タイ語演習2					学術タイ語演習1 学術タイ語演習2 アジア・アフリカ言語研究1 アジア・アフリカ言語研究2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)

専	講師	チョームチャイ	平成28年4月	学術ラオス語演習1 学術ラオス語演習2	専	講師	スリカン	平成29年4月	学術ラオス語演習1 学術ラオス語演習2 アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2	平成29年3月チョームチャイ任期満了退職にともない担当者変更(29)
専	講師	レ・ティ・タイン・タム	平成28年4月	学術ベトナム語演習1 学術ベトナム語演習2						
専	講師	バン ソバタナ	平成28年4月	学術カンボジア語演習1 学術カンボジア語演習2						
専	講師	サイチョートウン	平成28年4月	学術ビルマ語演習1 学術ビルマ語演習2					学術ビルマ語演習1 学術ビルマ語演習2 アジア・アフリカ言語研究1 アジア・アフリカ言語研究2	教育内容充実のため、教員を追加(28)
専	講師	ラーム・プラカーシュ・ドゥヴィヴェーディー	平成28年4月	学術ヒンディー語演習1 学術ヒンディー語演習2						平成29年3月任期満了退職。担当科目は藤井毅教授が開講(29)
専	講師	スハイル・アッパース・ハーン	平成28年4月	学術ウルドゥー語演習1 学術ウルドゥー語演習2					学術ウルドゥー語演習1 学術ウルドゥー語演習2 アジア・アフリカ言語研究1 アジア・アフリカ言語研究2	教育内容充実のため、教員を追加(28)
専	講師	スライマーン	平成28年4月	学術アラビア語演習1 学術アラビア語演習2						
専	講師	オミタバ・チョクロボルティ	平成28年4月	学術ベンガル語演習1 学術ベンガル語演習2					学術ベンガル語演習1 学術ベンガル語演習2 アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2	教育内容充実のため、教員を追加(28)
専	講師	ナスリーン・シャキービー=モムターズ	平成28年4月	学術ベルシア語演習1 学術ベルシア語演習2					学術ベルシア語演習1 学術ベルシア語演習2 アジア・アフリカ言語研究1 アジア・アフリカ言語研究2	教育内容充実のため、教員を追加(28)
専	講師	ミュゲ五十嵐	平成28年4月	学術トルコ語演習1 学術トルコ語演習2						
兼任	教授	渡邊 己	平成28年4月	アジア・アフリカフィールドサイエンス基礎1						
兼任	教授	飯塚 正人	平成28年4月	アジア・アフリカフィールドサイエンス基礎2						

兼任	教授	深澤 秀夫	平成28年4月	アジア・アフリカフィールドサイエンス実践研究1						
兼任	教授	西井 涼子	平成28年4月	アジア・アフリカフィールドサイエンス実践研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	浦田 和幸	平成28年4月	英語学・英語教育学研究1 英語学・英語教育学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	斎藤 弘子	平成28年4月	英語学・英語教育学研究3 英語学・英語教育学研究4 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	根岸 雅史	平成28年4月	英語学・英語教育学研究5 英語学・英語教育学研究6 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	吉富 朝子	平成28年4月	英語学・英語教育学研究7 英語学・英語教育学研究8 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	投野 由紀夫	平成28年4月	英語学・英語教育学研究9 英語学・英語教育学研究10 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2				英語学・英語教育学研究9 英語学・英語教育学研究10 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2 言語教育基礎1 言語教育基礎2	教育内容充実のため、科目を追加 (28)	
専	講師	大谷 直輝	平成28年4月	英語学・英語教育学研究11 英語学・英語教育学研究12						
専	教授	成田 節	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ言語研究1 ヨーロッパ・アメリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	藤縄 康弘	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ言語研究1 ヨーロッパ・アメリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	川口 祐司	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ言語研究1 ヨーロッパ・アメリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	講師	秋廣 尚恵	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ言語研究1 ヨーロッパ・アメリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2		准教授 講師				平成29年4月昇任(29)

専	准教授	山本 真司	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ言語研究1 ヨーロッパ・アメリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	川上 茂信	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ言語研究1 ヨーロッパ・アメリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	黒澤 直俊	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ言語研究1 ヨーロッパ・アメリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	匹田 剛	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ言語研究1 ヨーロッパ・アメリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	森田 耕司	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ言語研究1 ヨーロッパ・アメリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	金指 久美子	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ言語研究1 ヨーロッパ・アメリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	加藤 晴子	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究1 アジア・アフリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	三宅 登之	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究1 アジア・アフリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	五十嵐 孔一	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究1 アジア・アフリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2		教授 准教授				平成28年4月昇任(28)
専	准教授	南 潤珍	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究1 アジア・アフリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	趙 義成	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究1 アジア・アフリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	講師	温品 廉三	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究1 アジア・アフリカ言語研究2						

専	准教授	降幡 正志	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究 1 アジア・アフリカ言語研究 2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	講師	野元 裕樹	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究 1 アジア・アフリカ言語研究 2	准教授 講師					平成28年4月昇任(28)
専	講師	長屋 尚典	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究 1 アジア・アフリカ言語研究 2						
専	教授	鈴木 玲子	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究 1 アジア・アフリカ言語研究 2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	上田 広美	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究 1 アジア・アフリカ言語研究 2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	岡野 賢二	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究 1 アジア・アフリカ言語研究 2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2				アジア・アフリカ言語研究1 アジア・アフリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)	
専	准教授	萬宮(小牧) 健策	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究 1 アジア・アフリカ言語研究 2 言語学研究1 言語学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	ロバート・ラトクリフ	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究 1 アジア・アフリカ言語研究 2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2				アジア・アフリカ言語研究1 アジア・アフリカ言語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)	
専	准教授	吉枝 聡子	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究 1 アジア・アフリカ言語研究 2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	菅原 睦	平成28年4月	アジア・アフリカ言語研究 1 アジア・アフリカ言語研究 2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2	教授 准教授					平成29年4月昇任(29)
専	教授	望月 圭子	平成28年4月	言語学研究1 言語学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	風間 伸次郎	平成28年4月	言語学研究1 言語学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						

専	准教授	箕浦 信勝	平成28年4月	言語学研究1 言語学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	中川 祐	平成28年4月	音声学研究1 音声学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	益子 幸江	平成28年4月	音声学研究1 音声学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	市川 雅教	平成28年4月	言語情報学研究1 言語情報学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	望月 源	平成28年4月	言語情報学研究1 言語情報学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	佐野 洋	平成28年4月	言語情報学研究1 言語情報学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	宇佐美 まゆみ	平成28年4月	認知科学研究1 認知科学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2			後任未定			平成28年3月31日他機関へ転出。後任未定だが、「認知科学研究1、2」「修士論文修士研究ゼミ1、2」は、他に担当教員がいるため、支障はない。(29)
専	准教授	田島 充士	平成28年4月	認知科学研究1 認知科学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	鈴木 聡	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	加藤 雄二	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究3 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究4 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2			教授 准教授			平成29年4月昇任(29)
専	准教授	西岡 あかね	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究5 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究6 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	山口 祐之	平成28年4月	短期海外留学 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究5 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究6 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						

専	教授	松浦 寿夫	平成28年 4 月	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 5 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 6 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	准教授	博多 かおる	平成28年 4 月	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 5 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 6 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	准教授	林 和宏	平成28年 4 月	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 5 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 6 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	准教授	久野 量一	平成28年 4 月	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 5 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 6 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	准教授	前田 和泉	平成28年 4 月	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 5 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 6 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	沼野 恭子	平成28年 4 月	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 5 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 6 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2					ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 5 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 6 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2 総合国際学研究基礎	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
専	教授	武田 千香	平成28年 4 月	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 5 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究 6 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	川島 郁夫	平成28年 4 月	アジア・アフリカ文学・文化研究 1 アジア・アフリカ文学・文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	准教授	橋本 雄一	平成28年 4 月	アジア・アフリカ文学・文化研究 1 アジア・アフリカ文学・文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	岡田 和行	平成28年 4 月	アジア・アフリカ文学・文化研究 1 アジア・アフリカ文学・文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2 短期海外留学						
専	教授	青山 亨	平成28年 4 月	アジア・アフリカ文学・文化研究 1 アジア・アフリカ文学・文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2					アジア・アフリカ文学・文化研究 1 アジア・アフリカ文学・文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2 異分野交流ゼミ 1 異分野交流ゼミ 2	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
専	講師	野平 宗弘	平成28年 4 月	アジア・アフリカ文学・文化研究 1 アジア・アフリカ文学・文化研究 2						
専	准教授	岡田 知子	平成28年 4 月	アジア・アフリカ文学・文化研究 1 アジア・アフリカ文学・文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						

専	教授	水野 善文	平成28年4月	アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	萩田 博	平成28年4月	アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	粟屋 利江	平成28年4月	アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	丹羽 京子	平成28年4月	アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	八木 久美子	平成28年4月	アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2					アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2	科目内容に鑑み、担当教員を変更(29)
専	教授	藤井 守男	平成28年4月	アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	佐々木 あや乃	平成28年4月	アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	林 佳世子	平成28年4月	短期海外留学 アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
兼担	教授	芝野 耕司	平成28年4月	アジア・アフリカフィールドサイエンス言語研究1 アジア・アフリカフィールドサイエンス言語研究2						
専	准教授	真鍋 求	平成28年4月	人間文化研究1 人間文化研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	千葉 敏之	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						

専	教授	篠原 琢	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究3 ヨーロッパ・アメリカ地域研究4 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	鈴木 茂	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究5 ヨーロッパ・アメリカ地域研究6 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	講師	伊東 剛史	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究7 ヨーロッパ・アメリカ地域研究8	准教授 講師				ヨーロッパ・アメリカ地域研究7 ヨーロッパ・アメリカ地域研究8 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2	平成28年4月昇任(28)
専	講師	小田原 琳	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究9 ヨーロッパ・アメリカ地域研究10						
専	講師	福嶋 千穂	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究11 ヨーロッパ・アメリカ地域研究12						
専	講師	翼 由樹子	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究13 ヨーロッパ・アメリカ地域研究14						
専	教授	金井 光太郎	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究15 ヨーロッパ・アメリカ地域研究16 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2					世界史教育1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究15 <del>ヨーロッパ・アメリカ地域研究16</del> 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2	科目内容に鑑み、担当教員を変更(28) 科目内容に鑑み、担当教員を変更(29)
専	教授	相馬 保夫	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究15 ヨーロッパ・アメリカ地域研究16 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	鈴木 義一	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究15 ヨーロッパ・アメリカ地域研究16 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2					ヨーロッパ・アメリカ地域研究15 <del>ヨーロッパ・アメリカ地域研究16</del> 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2	科目内容に鑑み、担当教員を変更(29)
専	教授	佐々木 孝弘	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究15 ヨーロッパ・アメリカ地域研究16 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2					総合国際学研究基礎 ヨーロッパ・アメリカ地域研究15 ヨーロッパ・アメリカ地域研究16 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2	教育内容充実のため、教員を追加(28)
専	准教授	宮地 隆廣	平成28年4月	世界史教育1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究15 ヨーロッパ・アメリカ地域研究16 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2			後任未定			平成29年3月他機関へ転出後任未定だが、「世界史教育1」「ヨーロッパ・アメリカ地域研究15.16」「修士論文修士研究ゼミ1.2」は、他に担当教員がいるため、支障はない。(29)
専	准教授	久米 順子	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究15 ヨーロッパ・アメリカ地域研究16 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						

専	教授	小川 英文	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 1 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	今井 昭夫	平成28年 4 月	短期海外留学 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 3 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 4 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	藤井 毅	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 7 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 8 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2					アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 7 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 8 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2 学術ヒンディー語演習 1 学術ヒンディー語演習 2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
専	教授	吉田 ゆり子	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 9 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 10 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	米谷 匡史	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 11 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 12 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	准教授	菊池 陽子	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 13 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 14 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	講師	倉田 明子	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 15 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 16	准教授 講師				アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 15 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究 16 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	平成29年4月昇任 (29)
専	教授	丹羽 泉	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 17 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 18 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	准教授	左右田 直規	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 17 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 18 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	新井 政美	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 17 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 18 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	後任未定					平成29年3月定年退職（定年延長せ ず）。 後任未定だが、「アジア・アフリカ・ オセアニア地域研究 17, 18」「修士論 文修士研究ゼミ 1, 2」は、他に担 当教員がいるため、支障はない。 (29)
専	講師	島田 志津夫	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 17 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 18						
専	教授	澤田 ゆかり	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 17 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究 18 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						

専	教授	宮田 敏之	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究17 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究18 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	青山 弘之	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究17 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究18 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	坂井 真紀子	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究17 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究18 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	小笠原 欣幸	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究17 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究18 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	山内 由理子	平成28年 4 月	アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究17 アジア・アフリカ・オセア ニア地域研究18 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	栗田 博之	平成28年 4 月	現代世界論研究 1 現代世界論研究 2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	大川 正彦	平成28年 4 月	現代世界論研究 3 現代世界論研究 4 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	金 富子	平成28年 4 月	現代世界論研究 3 現代世界論研究 4 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	岡田 昭人	平成28年 4 月	現代世界論研究 3 現代世界論研究 4 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	今福 龍太	平成28年 4 月	現代世界論研究 3 現代世界論研究 4 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	真島 一郎	平成28年 4 月	現代世界論研究 3 現代世界論研究 4 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	中山 智香子	平成28年 4 月	現代世界論研究 3 現代世界論研究 4 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						

専	教授	李 孝徳	平成28年 4 月	現代世界論研究 3 現代世界論研究 4 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	岩崎 稔	平成28年 4 月	現代世界論研究 3 現代世界論研究 4 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	准教授	加藤 美帆	平成28年 4 月	現代世界論研究 3 現代世界論研究 4 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	准教授	鈴木 美弥子	平成28年 4 月	国際関係研究 1 国際関係研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	渡邊 啓貴	平成28年 4 月	国際関係研究 1 国際関係研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	若松 邦弘	平成28年 4 月	国際関係研究 1 国際関係研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	松隈 潤	平成28年 4 月	国際関係研究 1 国際関係研究 2 修士論文修士研究ゼミ 2					国際関係研究 1 国際関係研究 2 修士論文修士研究ゼミ 2	特別研修のため、開講せず (29)
専	准教授	田島 陽一	平成28年 4 月	国際関係研究 3 国際関係研究 4 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
兼任	教授	近藤 伸彰	平成28年 4 月	アジア・アフリカフィールドサイエンス地域研究 1						
兼任	教授	栗原 浩英	平成28年 4 月	アジア・アフリカフィールドサイエンス地域研究 2					アジア・アフリカフィールドサイエンス地域研究 1 アジア・アフリカフィールドサイエンス地域研究 2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
専	教授	篠田 英朗	平成28年 4 月	Foundation for Peacebuilding 1 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2					総合国際学研究基礎 Foundation for Peacebuilding 1 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
兼任	講師	間 寧	平成28年 4 月	Foundation for Peacebuilding 2 Conflict and Social Change 2						

兼任	講師	土屋 一樹	平成28年 4 月	Applied Peacebuilding 3	兼任	講師	秋林 こずえ	平成29年 4 月	Applied Peacebuilding 3	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
兼任	講師	秋林 こずえ	平成28年 4 月	Applied Peacebuilding 4	兼任	講師	湊 一樹	平成29年 4 月	Applied Peacebuilding 4	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
専	教授	伊勢崎賢治	平成28年 4 月	異分野交流ゼミ 2 Applied Peacebuilding 1 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2					異分野交流ゼミ 1 異分野交流ゼミ 2 Applied Peacebuilding 1 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
兼任	講師	上杉 勇司	平成28年 4 月	Applied Peacebuilding 2						
専	教授	松永 泰行	平成28年 4 月	PCS Reserch Methodology Conflict and Social 修士論文修士研究ゼミ 1						
兼任	講師	吉崎 知典	平成28年 4 月	International Rerations and Cooperation 1 International Rerations and Cooperation 2						
兼任	講師	鈴木 早苗	平成28年 4 月	International Rerations and Cooperation 3	兼任	講師	シャーニー	平成29年 4 月	International Rerations and Cooperation 3	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
兼任	准教授	宮城 徹	平成28年 4 月	総合国際学研究基礎						
兼任	准教授	壘 隆博	平成28年 4 月	総合国際学研究基礎						
					兼任	講師	ジョン・ マンキューソ	平成28年 4 月	学術英語演習 1 学術英語演習 2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	金 亨貞	平成29年 4 月	学術朝鮮語演習 1 学術朝鮮語演習 2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	教授	峰岸 真琴	平成28年 4 月	アジア・アフリカ フィールドサイエンス 言語研究 1 アジア・アフリカ フィールドサイエンス 言語研究 2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)

					専	准教授	芹生 尚子	平成28年4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究15 ヨーロッパ・アメリカ地域研究16 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2	平成28年4月新規採用 科目内容に鑑み、担当教員を変更 (28)
					兼任	講師	清水 麗	平成28年4月	国際関係研究1	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	教授	中山 俊秀	平成28年4月	アジア・アフリカ フィールドサイエンス 言語研究2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	角埜 恭央	平成28年4月	言語情報学研究1	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	新崎 隆子	平成28年4月	通訳翻訳実践研究1 通訳翻訳実践研究2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	長沼 君主	平成28年4月	英語学・英語教育学研 究1 2	教育内容充実のため、教員を追加 (29)
					兼任	講師	土肥 一夫	平成28年4月	言語学研究1	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	ウィズ	平成28年4月	学術英語演習1 学術英語演習2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	教授	澤田 英夫	平成28年4月	アジア・アフリカ フィールドサイエンス 言語研究1	科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	河原 清志	平成28年4月	通訳翻訳実践研究1 通訳翻訳実践研究2	科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	工藤 洋路	平成28年4月	英語学・英語教育学研究1 1	科目内容充実のため、教員を追加 (29)
					兼任	講師	ヘンダーソン	平成28年4月	学術英語演習1 学術英語演習2	科目内容充実のため、教員を追加 (28)

					兼任	講師	河原 和夫	平成28年 4月	現代世界論研究 3	科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	ゲートワ	平成28年 4月	学術ロシア語演習 1 学術ロシア語演習 2	科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					専	教授	小松 久男	平成28年 4月	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究17 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究18 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	石井 康毅	平成28年 4月	英語学・英語教育学研究11 英語学・英語教育学研究12	科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					専	講師	コースイット	平成28年 4月	アジア・アフリカ文学・文化研究1 アジア・アフリカ文学・文化研究2	科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					専	講師	ルシオ・デ・ ソウザ	平成28年 4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究15 ヨーロッパ・アメリカ地域研究16	科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	マシューズ	平成28年 4月	英語学・英語教育学研究11	科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	フフバートル	平成28年 4月	アジア・アフリカ言語研究 1	科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	田村 智子	平成28年 4月	通訳翻訳実践研究 1 通訳翻訳実践研究 2	科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					専	講師	青木 雅浩	平成28年 4月	アジア・アフリカ・オ セアニア地域研究17 アジア・アフリカ・オ セアニア地域研究18	平成28年4月新規採用 科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	教授	萩尾 生	平成28年 4月	ヨーロッパ・アメリカ地域研究15 ヨーロッパ・アメリカ地域研究16	科目内容充実のため、教員を追加 (28)
					専任	講師	シモン	平成28年 4月	学術フランス語演習 1 学術フランス語演習 2	科目内容充実のため、教員を追加 (28)

					兼任	講師	林 公則	平成28年 4月	現代世界論研究 4	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	渡辺 直紀	平成28年 4月	アジア・アフリカ文 学・文化研究 2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	上村 明	平成29年 4月	アジア・アフリカ・オ セアニア地域研究18	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	堤 正典	平成28年 4月	ヨーロッパ・アメリカ 言語研究 2	教育内容充実のため、教員を追加 (28)
					兼任	講師	レークウィッ グ グナール	平成29年 4月	現代世界論研究 3	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
					兼任	准教授	陶安 あんど	平成29年 4月	アジア・アフリカ フィールドサイエンス 地域研究 2	科目内容充実のため、教員を追加 (29)
					専	講師	ミッシェル	平成29年 4月	アジア・アフリカ文 学・文化研究 1 アジア・アフリカ文 学・文化研究 2	教育内容充実のため、教員を追加 (29)
					兼任	講師	ハウク	平成29年 4月	学術英語演習 1 学術英語演習 2	教育内容充実のため、教員を追加 (29)
					兼任	講師	井上 幸義	平成28年 4月	ヨーロッパ・アメリカ 言語研究 1	教育内容充実のため、教員を追加 (29)
					兼任	講師	畑瀬 真理子	平成29年 4月	国際関係研究 3 国際関係研究 4	教育内容充実のため、教員を追加 (29)
					兼任	講師	申 亜敏	平成29年 4月	言語学研究 2	教育内容充実のため、教員を追加 (29)
					兼任	講師	山本 薫	平成29年 4月	アジア・アフリカ文 学・文化研究 1 アジア・アフリカ文 学・文化研究 2	科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)

					兼任	講師	鳥山 祐介	平成29年4月	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究5	科目内容に鑑み、担当教員を変更(29)
					専	講師	小久保 真理江	平成29年4月	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究5 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究6	平成29年4月新規採用 科目内容に鑑み、担当教員を変更(29)
					専	講師	ボルロンガン	平成29年4月	言語学研究2	教育内容充実のため、担当教員を変更(29)
					兼任	講師	木村 理子	平成29年4月	アジア・アフリカ文学・文化研究1	科目内容に鑑み、担当教員を変更(29)
					専	講師	丸山 空大	平成29年4月	人間文化研究1 人間文化研究2	平成29年2月新規採用 教育内容充実のため、教員を追加(29)
					専	講師	大石 高典	平成29年4月	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究17 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究18	平成28年10月新規採用 教育内容充実のため、教員を追加(29)
					専	講師	中山 裕美	平成29年4月	国際関係研究1 国際関係研究2	平成29年4月新規採用 科目内容に鑑み、担当教員を変更(29)
					専	講師	出町 一恵	平成29年4月	国際関係研究3 国際関係研究4	教育内容充実のため、教員を追加(29)
					専	講師	日下部 尚徳	平成29年4月	国際関係研究1 国際関係研究2	平成28年10月新規採用 教育内容充実のため、教員を追加(29)
					専	講師	内山 直子	平成29年4月	国際関係研究3 国際関係研究4	平成29年4月新規採用 教育内容充実のため、教員を追加(29)
					専	講師	木村 暁	平成29年4月	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究17 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究18	平成29年4月新規採用 教育内容充実のため、教員を追加(29)
					専	講師	逆井 聡人	平成29年4月	人間文化研究1 人間文化研究2	平成29年2月新規採用 教育内容充実のため、教員を追加(29)



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	宇佐美 まゆみ	選択	認知科学研究 1	①	平成28年3月31日に他機関へ転出したため(28)				
			選択	認知科学研究 2	①					
			必修	修士論文修士研究ゼミ 1	①					
			必修	修士論文修士研究ゼミ 2	①					
2	教授	山田 文比古	選択	国際行政入門 1	①					
			選択	国際行政入門 2	②					
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	3	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	5	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	新井 政美	選択	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究17	①	平成29年3月31日に定年退職したため(29)				
			選択	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究18	①					
			必修	修士論文修士研究ゼミ 1	①					
			必修	修士論文修士研究ゼミ 2	①					
2	准教授	宮地 隆廣	選択	ヨーロッパ・アメリカ地域研究15	①	平成29年3月31日に他機関へ転出したため(29)				
			選択	ヨーロッパ・アメリカ地域研究16	①					
			選択	世界史教育 1	①					
			必修	修士論文修士研究ゼミ 1	①					
			必修	修士論文修士研究ゼミ 2	①					
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)			後任補充状況の集計(B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
4 人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	9 科目	選択	8 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	15 科目	計	14 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」  「認知科学研究1、2」「国際行政入門1、2」「アジア・アフリカ・オセアニア地域研究17、18」「ヨーロッパ・アメリカ地域研究15、16」は他に担当教員おり選択科目であるため、修了までに必要な科目履修に大幅な影響はないと考える。</p> <p>「修士論文ゼミ1、2」は学生の主任指導教員が担当する必修科目ではあるが、辞任した教員を主任指導教員としていた学生は後任の主任指導教員の当該授業を履修しており、修了までに必要な科目履修に影響はないと考える。</p> <p>「学生への周知方法」  辞任した教員の「認知科学研究1、2」「国際行政入門1、2」「アジア・アフリカ・オセアニア地域研究17、18」「ヨーロッパ・アメリカ地域研究15、16」については、履修案内には記載せず、履修計画に影響のないよう周知した。</p> <p>「修士論文ゼミ1、2」については、辞任する教員を主任指導教員としていた学生へは事前に連絡し、辞任する教員と相談の上、年度開始前に後任の主任指導教員を決定できるよう周知した。</p>
--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <総合国際学研究科 世界言語社会専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

学部・大学院合同のFD委員会を中心にFD活動の企画・運営を行っている。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成28年度の実施状況については、計4回開催し、委員の出席率は良好であった。

###### c 委員会の審議事項等

授業の改善に関して、企画、立案、実施、調整等を行う。（国立大学法人東京外国語大学言語文化学部・国際社会学部・大学院総合国際学研究科FD委員会規程 第4条）

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

アクティブラーニングの手法やシラバス作成のポイント、遠隔授業の実施方法等の教育手法の改善に向けた取組紹介のほか、障がい学生への配慮や留学生受入の課題等の学生支援全般についても幅広く研修を行っている。

###### b 実施方法

教授会の開催前等、教員の参加しやすい時間帯に設定している。

###### c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成28年度は計8回実施し、平均して1回あたり約130名の参加を得た。これは教授会構成教員の約7割に及ぶ。

###### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

課題解決型授業や双方向討議型授業など、本学において優れた取り組みをすでに実施している教員が、各教員の授業改善に繋がるような事例紹介を行っている。また、各授業での取り組みを教員同士が情報共有するために、アンケート結果をとりまとめて、ウェブ資料として閲覧可能にしている。

##### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

###### a 実施の有無及び実施時期

有 毎年12月～1月

###### b 教員や学生への公開状況、方法等

学務情報システムによるアンケートにより実施

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年4月の設置以来、設置の趣旨・目的に沿った教育・研究活動を計画通り実施している。引き続き、更なる研究科の発展を目指したい。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成29年8月 公表予定

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成29年 6月 1日 )

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 東京外国語大学

## (2) 大学名

東京外国語大学

## (3) 大学の位置

〒183-8534  
東京都府中市朝日町3-11-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	タテイ ヒロコ 立石 博高 (平成25年4月)		
研究科長	イワサキ ツトム 岩崎 務 (平成25年4月)	アヤマ ヒロ 青山 亨 (平成29年4月)	平成29年4月1日 任期満了による交代 (29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
総合国際学研究科 国際日本専攻  修士(学術、文学、 言語学、国際学)	文学関係 社会学・社会福 祉学関係	2 年	46 人	86 人	基礎となる学部等  言語文化学部 国際社会学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学		
A 入学定員	40人	6人	40人	6人	(若干名)	(若干名)	1.05倍	10月入学: 募集人員6名
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
志願者数	104 ( 7 ) [ 69 ]	8 ( 0 ) [ 6 ]	106 ( 3 ) [ 79 ]	6 ( 0 ) [ 3 ]				
受験者数	102 ( 7 ) [ 69 ]	8 ( 0 ) [ 6 ]	98 ( 3 ) [ 73 ]	6 ( 0 ) [ 3 ]				
合格者数	45 ( 0 ) [ 30 ]	5 ( 0 ) [ 4 ]	47 ( 1 ) [ 30 ]	6 ( 0 ) [ 3 ]				
B 入学者数	43 ( 0 ) [ 27 ]	5 ( 0 ) [ 4 ]	43 ( 1 ) [ 28 ]	— ( — ) [ — ]				
入学定員超過率 B/A	1.05							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。

- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とそれを合計した入学定員、入学者数で算出して

- ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
- なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		備 考
	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	
1年次	43 [ 27 ] (0)	5 [ 4 ] (0)	43 [ 28 ] (-)	- [ - ] (-)	10月入学定員：6名
2年次	/		43 [ 27 ] (0)	5 [ 4 ] (0)	
計	48 [ 31 ] (0)		91 [ 59 ] (0)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

## 2 授業科目の概要

<総合国際学研究科 国際日本専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	(研究科共通科目) 総合国際学研究基礎	1前・後 1・2前・後		2		1	1					兼 5
	異分野交流ゼミ 1	1・2前		2								兼 2 秋入学に則した配当学期を追加 (28)
	異分野交流ゼミ 2	1・2前・後 1・2後		2								兼 1 秋入学に則した配当学期を追加 (28)
	短期海外留学	1・2前・後		2								兼 5
	多文化コーディネーション研究 1	1・2前		2					1			兼 1 科目内容に鑑み、担当教員を変更 (28) 兼 1 科目内容に鑑み、担当教員を変更 (29)
	多文化コーディネーション研究 2	1・2後		2					2			兼 1 科目内容に鑑み、担当教員変更 (28)
	言語教育基礎 1	1・2前		2								兼 1 教育内容充実のため、科目を追加 (28)
	言語教育基礎 2	1・2後		2								兼 1 教育内容充実のため、科目を追加 (28)
	日本語教育基礎 1	1・2前		2		1						
	日本語教育基礎 2	1・2後		2			1					
	日本語教育実習研究 1	未開講 1・2前		2		1						遠隔講義先の大学との調整がつかなかったため (29)
	日本語教育実習研究 2	1・2後		2		1	1					専任教員昇任 (教授) (29)
	世界史教育 1	1・2前		2								兼 1
	世界史教育 2	1・2後		2								兼 1
	国際行政入門 1	1・2前		2								兼 1
	国際行政入門 2	1・2後		2								兼 1
専攻科	発信英語演習 1	1・2前		1								兼 1
	発信英語演習 2	1・2後		1								兼 1
	発信日本語演習 1	1・2前		1		1	1					教育内容充実のため、教員を追加 (29)
	発信日本語演習 2	1・2後		1		1	1					教育内容充実のため、教員を追加 (29)
	日本語学研究 1	1・2前		2		1	2					兼 1 科目内容に鑑み、担当教員を変更 (28) 3 2 2 担当講師退職のため、担当教員を変更 (29)
	日本語学研究 2	1・2後		2		3		1				兼 1 科目内容に鑑み、担当教員を変更 (28)
	対照日本語研究 1	1・2前		2			1					
	対照日本語研究 2	1・2後		2			1					
	日本語教育学研究 1	1・2前		2		2	1	1				教育内容充実のため、教員を追加 (29)
	日本語教育学研究 2	1・2後		2		2	2	1				教育内容充実のため、教員を追加 (29) 教育内容充実のため、教員を追加 (28)
	日本語教育実践研究 1	1・2前		2		2	1	1				
	日本語教育実践研究 2	1・2後		2		2	2					兼 1 教育内容充実のため、教員を追加 (29)
	日本語文学・文化研究 1	1・2前		2		2						
	日本語文学・文化研究 2	1・2後		2		2						
	日本比較文学・文化研究 1	1・2前		2		1						
	日本比較文学・文化研究 2	1・2後		2		1	1					教育内容充実のため、教員を追加 (29)
							2				専任教員1名昇任 (教授)、1名退職 (教授) (29)	

目	日本社会研究 1	1・2前	2	1	4	4	兼 4	教育内容充実のため、教員を追加(28)
	日本社会研究 2	1・2後	2	1	4	4	兼 4	専任教員1名昇任(教授)、1名退職(教授)(29) 教育内容充実のため、教員を追加(28)
	国際文化交流研究 1	1・2前	2	4		1	兼 1	専任教員退職のため、担当教員を変更(29)
	国際文化交流研究 2	1・2後	2	4	1		兼 1	専任教員退職のため、担当教員を変更(29) 科目内容に鑑み、担当教員を変更(28)
	Japan Studies 1	1・2前	2				兼 2	教育内容充実のため、教員を追加(28)
	Japan Studies 2	1・2後	2	1			兼 5	教育内容充実のため、教員を追加(29)
	修士論文修士研究ゼミ 1	2前	2	16	12		兼 2	専任教員2名昇任(教授)、1名退職(教授)(29) 教育内容充実のため、教員を追加(28)
	修士論文修士研究ゼミ 2	2後	2	16	12		兼 2	専任教員2名昇任(教授)、1名退職(教授)(29) 教育内容充実のため、教員を追加(28)

- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	36	0	38	2	38	0	40	
				[ 0 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	日本語教育実習研究 1		1・2前			遠隔講義先の大学（台湾）との調整が つかなかったため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

#### 「大学の所見」

当該科目は必修科目ではなく、秋学期には「日本語教育実習研究 2」が開講される予定であり、修了までに必要な科目履修に大幅な影響はないと考える。なお、該当科目については、履修希望者はおらず、履修に関する相談はこれまで寄せられていない。

#### 「学生への周知方法」

履修案内には開講しない予定であることを明記し、履修計画に影響のないよう周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

### (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{1}{38} = \boxed{2.63} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	99,479㎡	0㎡	0㎡	99,479㎡			
	運動場用地	27,557㎡	0㎡	0㎡	27,557㎡			
	小 計	127,036㎡	0㎡	0㎡	127,036㎡			
	そ の 他	15,276㎡	0㎡	0㎡	15,276㎡			
	合 計	142,312㎡	0㎡	0㎡	142,312㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		49,808㎡ (49,808㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	49,808㎡ (49,808㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 66 <del>67</del> 室	演 習 室 45 室	実験実習室 3 <del>5</del> 室	情報処理学習施設 5 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 3 室 (補助職員 5人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数	大学全体		
		国際日本専攻			35 室	平成29年4月 講義室、実験実習室改修 のため(29)		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	国際日本専攻	855,261 [463,980] (855,261 [463,980])	10,187 [3,666] (10,187 [3,666])	6,743 [5,904] (6,743 [5,904])	1,188 (1,188)	7 (7)	0 (0)	
	計	855,261 [463,980] (855,261 [463,980])	10,187 [3,666] (10,187 [3,666])	6,743 [5,904] (6,743 [5,904])	1,188 (1,188)	7 (7)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		6,930 ㎡	564	689,694				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		5,610㎡	屋 外 運 動 場 1 面	テ ニ ス コ ー ト 5 面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	東京外国語大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
言語文化学部									
言語文化学科	4	370	3年次 15	1,510	学士（言語・地域文化）	1.03	平成24年度	東京都府中市	
国際社会学部									
国際社会学科	4	375	3年次 15	1,530	学士（言語・地域文化）	1.04	平成24年度	東京都府中市	
外国語学部									
欧米第一課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
欧米第二課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
ロシア・東欧課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
東アジア課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
東南アジア課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
南・西アジア課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
日本課程	4	—	—	—	学士（言語・地域文化）	—	平成7年度	東京都府中市	
総合国際学研究科 （博士前期課程）									
世界言語社会専攻	2	102	—	204	修士（言語学）（文学）（学術）	0.96	平成28年度	東京都府中市	
国際日本専攻	2	46	—	86	修士（言語学）（文学）（学術）	1.05	平成28年度	東京都府中市	
総合国際学研究科 （博士前期課程）									
言語文化専攻	2	47	—	94	修士（言語学）（文学）（学術）	—	平成21年度	東京都府中市	
言語応用専攻	2	34	—	68	修士（言語学）（学術）	—	平成21年度	東京都府中市	
地域・国際専攻	2	37	—	74	修士（国際学）（学術）	—	平成21年度	東京都府中市	
国際協力専攻	2	30	—	60	修士（国際学）	—	平成21年度	東京都府中市	
総合国際学研究科 （博士後期課程）									
言語文化専攻	4	20	—	60	博士（学術）	0.98	平成21年度	東京都府中市	
国際社会専攻	4	20	—	60	博士（学術）	0.76	平成21年度	東京都府中市	

外国語学部は、平成24年度（3年次編入学は平成26年度）より学生募集停止

左記の博士前期課程の4専攻は、平成28年度より学生募集停止

の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合国際学研究所 国際日本専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	宮城 徹	平成28年4月	総合国際学基礎 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	壘 隆博	平成28年4月	総合国際学基礎 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	荒川 洋平	平成28年4月	日本語教育基礎1 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	中井 陽子	平成28年4月	日本語教育基礎2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	林 俊成	平成28年4月	日本語教育実習研究1 日本語教育実習研究2 日本語教育実践研究1 日本語教育実践研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	鈴木 美加	平成28年4月	日本語教育実習研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2		教授 准教授				平成29年4月昇任(29)
専	准教授	工藤 嘉名子	平成28年4月	発信日本語演習1 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	伊集院 郁子	平成28年4月	発信日本語演習2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	早津 恵美子	平成28年4月	日本語学研究1 日本語学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2					日本語学研究1 日本語学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2	科目内容に鑑み、担当教員を変更(28)
専	教授	川村 大	平成28年4月	日本語学研究1 日本語学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	坂本 恵	平成28年4月	日本語学研究1 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2					日本語学研究1 日本語学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2	担当講師退職のため、担当教員を変更(29)
専	教授	楠本 徹也	平成28年4月	日本語学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	講師	清水 由貴子	平成28年4月	日本語学研究2			後任未定			平成29年3月辞職 後任未定だが、「日本語学研究2」は、他の専任教員が担当しているため、支障はない。
専	准教授	花蘭 悟	平成28年4月	対照日本語研究1 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	准教授	中村 彰	平成28年4月	対照日本語研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	海野 多枝	平成28年4月	日本語教育学研究1 日本語教育学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	伊東 祐郎	平成28年4月	日本語教育学研究1 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	教授	鈴木 智美	平成28年4月	日本語教育学研究2 修士論文修士研究ゼミ1 修士論文修士研究ゼミ2						
専	講師	石澤 徹	平成28年4月	日本語教育学研究1						

専	教授	藤森 弘子	平成28年4月	日本語教育実践研究 1 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	講師	平野 宏子	平成28年4月	日本語教育実践研究 1						
専	准教授	谷口 龍子	平成28年4月	日本語教育実践研究 1 日本語教育実践研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	准教授	金子 比呂子	平成28年4月	日本語教育実践研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	藤村 知子	平成28年4月	日本語教育実践研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2				日本語教育実践研究 2 発信日本語演習 1 発信日本語演習 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	教育内容充実のため、教員を追加(29)	
専	教授	村尾 誠一	平成28年4月	日本文学・文化研究 1 日本文学・文化研究 2 日本比較文学・文化研究 1 日本比較文学・文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	教授	柴田 勝二	平成28年4月	日本文学・文化研究 1 日本文学・文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2						
専	講師	春名 展生	平成28年4月	国際文化交流研究 1						
専	教授	河路 由佳	平成28年4月	国際文化交流研究 1 国際文化交流研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2			後任未定			平成28年9月30日退職 後任未定だが、「国際文化交流研究 1、 2」「修士論文修士研究ゼミ 1、2」 は、他に担当教員が2名いるため、支障 はない。
専	准教授	友常 勉	平成28年4月	日本社会研究 1 日本社会研究 2	教授 准教授	友常 勉	平成28年4月	日本社会研究 1 日本社会研究 2 Japan Studies 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	平成29年4月昇任 教育内容充実のため、教員を追加(28)	
専	講師	ポーター・ ジョン	平成28年4月	日本社会研究 1 日本社会研究 2						
専	准教授	小松 由美	平成28年4月	国際文化交流研究 2				国際文化交流研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	教育内容充実のため、教員を追加(28)	
専	准教授	大津 友美	平成28年4月	修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2				日本語教育学研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	教育内容充実のため、教員を追加(28)	
専	准教授	菅長 理恵	平成28年4月	修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2				日本比較文学・文化研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	教育内容充実のため、教員を追加(29)	
兼任	准教授	小木曾 智信	平成28年4月	Japan Studies 1 Japan Studies 2						
兼任	教授	クリスト ファー・ガ ー タイス	平成28年4月	Japan Studies 2	兼任	教授		Japan Studies 1 Japan Studies 2	科目内容に鑑み、担当教科を変更(29)	
兼任	講師	イリス・ハウ カンブ	平成28年4月	Japan Studies 1	兼任	講師		Japan Studies 1 Japan Studies 2	教育内容充実のため、教員を追加(29)	
兼任	教授	吉本 秀之	平成28年4月	総合国際学基礎 短期海外留学	兼任	教授	沼野 恭子	平成29年4月	総合国際学研究基礎	科目内容に鑑み、担当教員変更(29)
兼任	教授	土佐 桂子	平成28年4月	総合国際学基礎	兼任	教授	佐々木 孝弘	平成29年4月	総合国際学研究基礎	科目内容に鑑み、担当教員変更(29)
兼任	教授	高島 英幸	平成28年4月	総合国際学基礎						
兼任	教授	伊勢崎賢治	平成28年4月	異分野交流ゼミ 2						

兼任	教授	岩崎 務	平成28年4月	異分野交流ゼミ 1	兼任	教授	青山 亨	平成29年4月	異分野交流ゼミ 1	科目内容に鑑み、担当教員変更(29)
兼任	講師	長谷部 美佳	平成28年4月	日本社会研究 1 日本社会研究 2	専任 兼任				多文化コーディネーション研究 1 日本社会研究 1 日本社会研究 2	科目内容に鑑み、担当教員を変更(28)
兼任	講師	土田 久美子	平成28年4月	多文化コーディネーション研究 1 多文化コーディネーション研究 2	専任 兼任				多文化コーディネーション研究 1 多文化コーディネーション研究 2 日本社会研究 1	科目内容に鑑み、担当教員を変更(28)
兼任	教授	金井 光太郎	平成28年4月	世界史教育 1						
兼任	講師	割田 聖史	平成28年4月	世界史教育 2						
兼任	講師	小野 倫寛	平成28年4月	発信英語演習 1 発信英語演習 2					発信英語演習 1 発信英語演習 2	科目内容に鑑み、担当教員を変更(28)
					兼任	講師	フリードリック	平成28年4月	発信英語演習 2	科目内容に鑑み、担当教員を変更(28)
兼任	教授	山口 裕之	平成28年4月	短期海外留学						
兼任	教授	岡田 和行	平成28年4月	短期海外留学						
兼任	教授	林 佳世子	平成28年4月	短期海外留学						
兼任	教授	今井 昭夫	平成28年4月	短期海外留学						
兼任	教授	山田 文比古	平成28年4月	国際行政入門 1 国際行政入門 2	兼任 兼任	准教授 講師	蒲生 慶一 加藤 秀治郎	平成28年4月 平成28年4月	国際行政入門 1 国際行政入門 2	科目内容に鑑み、担当教員を変更(28) 科目内容に鑑み、担当教員を変更(28)
					兼任	教授	鶴田 知佳子	平成28年4月	総合国際学基礎	教育内容充実のため、教員を追加(28)
					兼任	教授	篠田 英朗	平成28年4月	総合国際学基礎	教育内容充実のため、教員を追加(28)
					兼任	教授	Bernard Thomann	平成29年4月	Japan Studies 2	教育内容充実のため、教員を追加(28)
					兼任	教授	キャロル・グラック	平成28年4月	Japan Studies 2	教育内容充実のため、教員を追加(28)
					専任	准教授	阿部 新	平成28年10月	日本語教育学研究 1 日本語教育学研究 2 修士論文修士研究ゼミ 1 修士論文修士研究ゼミ 2	平成28年10月1日新規採用 教育内容充実のため、教員を追加(28)
					兼任	教授	投野 由紀夫	平成28年4月	言語教育基礎 1 言語教育基礎 2	教育内容充実のため、科目を追加(28)
					兼任	教授	木部 暢子	平成28年4月	Japan Studies 1 Japan Studies 2	科目内容充実のため、教員を追加(28)
					兼任	教授	山田 文比古	平成29年4月	国際文化交流研究 1	
					兼任	講師	Taka Oshikiri	平成29年7月	Japan Studies 1	教育内容充実のため、教員を追加(29)
					兼任	教授	タイモン・スクリーチ	平成29年4月	Japan Studies 1	教育内容充実のため、教員を追加(29)
					専任	講師	伊東 克洋	平成29年4月	日本語教育学研究 2	教育内容充実のため、教員を追加(29)
					兼任	講師	佐藤 佑	平成29年4月	日本語学研究 1 日本語学研究 2	担当講師退職のため、担当教員を変更(29)
					兼任	教授	文明 載	平成29年7月	Japan Studies 1 Japan Studies 2	教育内容充実のため、教員を追加(29)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。

- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度

( ) 書き等のみを記入してください。

## (2) 専任教員数等

### (2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
10	7	0
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

### (2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
15	13	5	0	33	16	12	7	0	35	16	12	7	0	35
(17)	(13)	(7)	(0)	(37)						[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 2 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
28	0	5			28	0	7			28	0	7		
(30)	(0)	(7)								[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

### (2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢	報告書提出時(上記(A))	完成年度時(上記(B))の教員数
63~65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	河路 由佳	選択	国際文化交流研究 1	①	平成28年9月30日に退職による辞任 (29)							
			選択	国際文化交流研究 2	①								
			必修	修士論文修士研究ゼミ 1	①								
			必修	修士論文修士研究ゼミ 2	①								
2	講師	清水 由貴子	選択	日本語学研究 2	①	平成29年3月31日に退職による辞任 (29)							
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)								
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)									
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

##### 「大学の所見」

「国際文化交流研究 1、2」「日本語学研究 2」は他に担当教員おり選択科目であるため、修了までに必要な科目履修に大幅な影響はないと考える。

「修士論文ゼミ 1、2」は学生の主任指導教員が担当する必修科目ではあるが、辞任した教員を主任指導教員としていた学生は後任の主任指導教員の当該授業を履修しており、修了までに必要な科目履修に影響はないと考える。

##### 「学生への周知方法」

辞任した教員の「国際文化交流研究 1、2」「日本語学研究 2」については、履修案内には記載せず、履修計画に影響のないよう周知した。

「修士論文ゼミ 1、2」については、辞任する教員を主任指導教員としていた学生へは事前に連絡し、辞任する教員と相談の上、秋学期開始前に後任の主任指導教員を決定できるよう周知した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <総合国際学研究科 国際日本専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

学部・大学院合同のFD委員会を中心にFD活動の企画・運営を行っている。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成28年度の実施状況については、計4回開催し、委員の出席率は良好であった。

###### c 委員会の審議事項等

授業の改善に関して、企画、立案、実施、調整等を行う。（国立大学法人東京外国語大学言語文化学部・国際社会学部・大学院総合国際学研究科FD委員会規程 第4条）

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

アクティブラーニングの手法やシラバス作成のポイント、遠隔授業の実施方法等の教育手法の改善に向けた取組紹介のほか、障がい学生への配慮や留学生受入の課題等の学生支援全般についても幅広く研修を行っている。

###### b 実施方法

教授会の開催前等、教員の参加しやすい時間帯に設定している。

###### c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成28年度は計8回実施し、平均して1回あたり約130名の参加を得た。これは教授会構成教員の約7割に及ぶ。

###### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

課題解決型授業や双方向討議型授業など、本学において優れた取り組みをすでに実施している教員が、各教員の授業改善に繋がるような事例紹介を行っている。また、各授業での取り組みを教員同士が情報共有するために、アンケート結果をとりまとめて、ウェブ資料として閲覧可能にしている。

##### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

###### a 実施の有無及び実施時期

有 毎年12月～1月

###### b 教員や学生への公開状況、方法等

学務情報システムによるアンケートにより実施

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年4月の設置以来、設置の趣旨・目的に沿った教育・研究活動を計画通り実施している。引き続き、更なる研

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成29年8月 公表予定

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成29年 6月 1日 )